

高松塚古墳点検・生物状況（平成13年～）

参考資料4

平成13	カビ発生箇所	種類	虫 特にとわりのないものは石室内
2.13～			
3.23	取り合い部強化工事等		
3.26	取り合い部に多量のカビ発生		
4.24	取り合いカビ収束せず		
5.7	取り合い部のみ点検		
7.9	取り合いカビ収束せず		
9.10	取り合いカビ発生わずか		
9.20	取り合いカビなし		
9.26	石室内点検		
	南壁内側下方		
	東西壁中央やや北寄り		
12.18	石室内、取り合いともカビ多量発生		
	東壁青龍頭部から前脚中心	灰白色綿状	
	東壁女子群像左女子腹部下部から下方	灰白色綿状	
	青龍北側	灰白色綿状	
	西壁女子群像下方	白	
	西壁白虎下方	白	
	西壁男子群像左下方	白	
平成14	カビ発生箇所	種類	虫 特にとわりのないものは石室内
1.7	前回とほぼ同箇所	白	なし
1.27	なし		なし
2.25	取り合いカビ減少		なし
3.27	なし		なし
5.21	取り合いカビ減少		
7.16	取り合いカビ減少		なし
9.9	西壁男子群像下方	青色(微細な点)	なし
10.27	石室内、取り合いに複数のカビ多量発生		ムカデ、ワラジムシ10匹余
	東壁青龍北側	黒	
	東壁女子群像下方	黒	
	西壁白虎下方	黒	
11.7	なし		ムカデ、ワラジムシ、クモ、アリ計20匹前後
11.11	なし		前回程度のムシ死骸あり。
11.28	なし		なし
12.9	なし		なし
平成15	カビ発生箇所	種類	虫 特にとわりのないものは石室内
1.6	なし		ムカデ3、ワラジムシ2
2.17	なし		ムカデ4
3.19	なし		ワラジムシ13、クモ2
3.24	なし		ワラジムシ2
4.13	なし		ワラジムシ5、ハネカクシsp1、クモ2
4.18	取り合い擬土上	点状白いカビ(複数)	ワラジムシ6

高松塚古墳点検・生物状況（平成13年～）

参考資料4

4.22	なし		ワラジムシ5
5.19	なし		ワラジムシ11、ムカデ2
6.23	取り合い東	白綿状薄いもの(径10センチ)	ワラジムシ6、ムカデ1、ハサミムシ1、ゴミムシダマシsp1
7.15	取り合い下部	白綿状	
8.4	なし		ワラジムシ4、ムカデ1、アリ2、ゴミムシ1(内)、クロクサアリ10数匹(取り合い)
9.1	取り合い樹脂部	白綿状薄いもの(東西壁とも広範囲)	ワラジムシ2、ムカデ1
10.15	取り合い擬土上	白綿状、緑	
10.27	なし		なし
11.1	石室石材外側下部	白綿状(2センチ)	
	取り合い東土上	白綿状(1センチ数個)	ムカデ1、ワラジムシ1
12.15	なし		なし
平成16	カビ発生箇所	種類	虫 特にことわりのないものは石室内
1.26	なし		ワラジムシ2
2.23	東壁青龍下方、後方、黒いシミの跡	白綿状	ワラジムシ7
	西壁男子群像下方	同	
	取合部東西壁面		
3.15	東壁青龍下方、後方、黒いシミの跡	白(1ミリ以下の小点点在)	ワラジムシ6
	西壁白虎前足	白綿状(径1センチ)	
	西壁男子下	白綿状(径1センチ)	
4.5	閉鎖ブロック内側天井付近	白	ワラジムシ2
	東壁女子群像北	白綿状、緑	
	白虎南下	緑点状	
4.26	東壁青龍下方、後方、黒いシミの跡	白(1ミリ以下の小点点在)	ワラジムシ6(内)、クロクサアリ1(取合)
	東壁女子群像北黒シミ上	白(1ミリ以下の小点点在)	
	西壁月象の上天井との境目	白(小)	
	西壁白虎下	白微小点	
	西壁男子群像下	白微小点	
	閉鎖ブロック内側天井との境	白(3センチ)	
	床奥ガーゼ上	白点上複数	
5.19	東壁青龍下方、後方、黒いシミの跡	白(1ミリ以下の小点点在)	ワラジ虫3、ハサミムシ2
	西壁月象の上天井との境目	白(小)	
	西壁男子群像下	白(微小点1)	
	床奥ガーゼ上、および下	白、緑、黄、1cm以下複数	
	閉鎖ブロック内側上方	白、緑	
	閉鎖ブロックカバ - 上面	白、緑	
	取合部閉塞石外側下方	白、緑、点状複数	
	取合部西側土面	白、点状複数	
6.15	東壁女子群像北	緑(1ミリの点状)	ムカデ3、ワラジムシ6、クモ1
	西壁月象の上天井との境目	白(2,3ミリの点状数個)	

高松塚古墳点検・生物状況（平成13年～）

参考資料4

	閉鎖ブロック内側上方	白（凹凸部に沿って5～6センチ）	
	取合部閉塞石外側下方	白（綿状1～2センチ10個あまり）	
	取合部東側土面	白（綿状5センチ）	
6.22	東壁男子群像下部	白、綿状（薄く径2センチ）	ワラジムシ1、ムカデ1（内）、アリ3（取合）
7.14	床面ガーゼ上および下	白、綿状（ムカデ等の死骸に生えているもの4箇所）	ワラジムシ4、ムカデ5、ハサミムシ1（内）、15日に壁面を歩くワラジムシ2（内）、ムカデ1、クモ1（取
	白虎前足爪付近の漆喰亀裂上	微小な乳白色の粒十数個がかたまって付着	
	取合部閉塞石外側	白、綿状複数（最大2センチ）	
	取合部東西土面下方	白、綿状複数（最大5センチ）	
8.11	床面ガーゼ上および下	白、綿状（ムカデ等の死骸に生えているもの6箇所）	ワラジムシ4、ムカデ6、ハサミムシ1、ゴミムシダマシの幼虫に似た虫1、カビに覆われて不明のもの3（内）、クモ2（取合）
	東壁男子群像下部	白、綿状（薄く径5ミリ）	顕微鏡による観察により漆喰層表面に多数のダニの棲息を確認。
	北壁玄武下方	緑、球状（径3ミリ）	
	東壁青龍北および下方	緑、点状複数（1～5ミリ）	
	西壁女子群像下方	緑、点状複数（1～5ミリ）	
	取合部閉塞石外側	白、綿状複数（最大2センチ）	
	取合部西土面下方	白、綿状複数（最大3センチ）	
9.6	西壁男子群像の絵の上およびその周辺	白綿状（40×50センチの範囲に斑点状に散在）	ムカデ4、ワラジムシ2、うちムカデ1、ワラジムシ1は生きている（内）、クモ2（取合）
	東壁青龍南側から下方にかけて（余白部）	白（5ミリ～2センチ大計5箇所、その他1ミリ以下数箇所）	壁面顕微鏡調査、多数のダニ確認。西壁東壁とも微小な乳白色および茶色の粘性のある粒を確
	北壁下方	白綿状（5センチ大1箇所）	
	床面	白綿状（10センチ大2箇所）	
	取合部西土面下方	緑（最大1センチ3箇所）	
	同	白綿状（3センチ数箇所）	
	取合部東側土面下方	白綿状（5センチ数箇所）	
9.10	新たな発生なし		ムカデ1、ワラジムシ1
9.21	西壁男子像上剥落部	白および緑（2～3ミリ大数個）	ムカデ4、ワラジムシ5、ゴミムシの一種1（内）、ムカデ2（取合）
	東壁青龍北側黒シミ下方	白薄いもの（径15センチの範囲に点	
	北壁下方床近く	白（径5ミリ3個）	
	東壁女子像北側	白（1ミリ1個）	
	取合部西土面	白綿状（3センチ数箇所）	
10.5	西壁男子像上剥落部	緑（1ミリ大3個）	ムカデ3、ワラジムシ4（内）、ムカデ1（取合）
	西壁女子像下方余白部	灰色（1ミリ大1個）	

高松塚古墳点検・生物状況（平成13年～）

参考資料4

	東壁青龍下方余白部	緑(1ミリ大5~6個)	
	北壁下方床近く	白(径5ミリ3個)	
	取合部東土面	白綿状(3センチ数箇所)	
10.18	西壁女子像下方余白部	白綿状(2ミリ大1個)	ムカデ7
	西壁女子像下方床近く	白綿状薄いもの(径3cm範囲に点在)	
	天井南	白綿状(1cm大点在)	
10.26	天井南盗掘口間際	白綿状(1cm大2個)	ムカデ3、ワラジムシ4(内)。クモ1、ムカデ1、ゴミムシ1(生きているもの)(取り合い)。
	北壁床近く	白綿状薄いもの点在(4cm範囲)	
	取り合い西側土上	白綿状(2センチ大数個)	
	取合部東側版築上	白綿状(1cm大1個)	
	石室外側漆喰上	白綿状点在	
11.1	天井南盗掘口近く	白綿状(1センチ大1個)	ワラジムシ2、アリ1、3ミリほどの甲虫1、東壁青龍南側ダニ多し。
	取り合い西側南擬土上、	白綿状(2センチ大1個)	
	東側石室外側漆喰上	ごく薄い白点在	
11.18	天井南盗掘口近く	白綿状(5ミリ大3個)	ムカデ3、ゴミムシダマシ幼虫1(いずれも生きている)
	白虎上方余白部	白薄いもの(5ミリ大3個)	
	取合西側南方灰色	灰色綿状(3センチ大2個)	
11.19	白虎上方余白部	白ごく薄いもの(20センチ四方1箇所)	ムカデ4、ワラジムシ1、クモ1、(石室内)、取り合い部にムカデ1(生きているもの)。石室内クモ死
	東壁女子群像緑衣の袴際	白綿状(1ミリ1箇所)	
	東壁黄衣の頭部後方余白部	白綿状(1ミリ1箇所)	
	天井南西部	白綿状(2ミリ1箇所)	
	天井北側	黒シミ状(径3センチの範囲に点在1)	
11.30			ワラジムシ1(石室内・生きている)
12.21	南側床に白黴	白綿状	クモ1(取り合い部)
	西壁男子群像上部	白薄いもの(15センチ四方に3センチ大1箇所、1センチ大3箇所)	
	天井北側漆喰開口部	黒シミ状(4cm長)	
	天井北側中央西寄り	黒い円状(径5センチから2センチほどの直径が3つ重なるような形)	
	天井北側北寄り	黒シミ状小点点在(大きく5~6箇所)	
1.6	西壁男子群像北側	白薄いもの(5~10ミリ4箇所)	ムカデ4(うち3は死骸カビ発生、1は生きている)
	白虎下余白	白薄いもの(5ミリ4箇所)	東壁青龍から女子群像にかけて特に壁面のダニ
	東壁青龍北側茶色部	白薄いもの(5センチ範囲1箇所)	
	床面	白薄いもの散在	
1.7			ムカデ1(生きている)

高松塚古墳点検・生物状況（平成13年～）

参考資料4

1.17	西壁男子群像下方青衣男子下方	白綿状(5×1センチの剥落部周辺漆喰断面に沿う)	ムカデ1、ワラジムシ2(うち1匹は生きている) (内)、ムカデ1(取り合い)
	白虎下方約10センチ	白小点(1ミリ以下、径5センチおよび径3センチの範囲2箇所)	
	東壁青龍下方約10cm	白小点(1ミリ以下、径3cmの範囲1箇所)	
	青龍北側茶色部ほぼ中央	白小点(1ミリ以下、径5cmの範囲1箇所)	
	床面虫死骸	白綿状(5)	
	取り合い部西側北面	白薄いもの(5センチの範囲3箇所)	
2.8		カビはいずれも白。壁面のものは薄いもの。	生きているワラジムシ9、死んでいるワラジムシ3、 死んでいるムカデ4
	西壁 白虎足下余白	径1cm	
	西・南壁境界部	径2cmの範囲に薄いもの	
	天井・北側	径3cmの範囲に薄いもの	
	東壁	青龍南側余白 径2cmの範囲に薄いもの	
	床面	南側北近く東 1cmの白綿状	
2.24		カビはいずれも白。	ムカデ4、ワラジムシ5(うち1は生きているもの)
	西壁 白虎足下余白	径1cmの範囲に1ミリ以下のカビが散	
	東壁青龍南側余白	径1cmの範囲に1ミリ以下のカビが散	
	同 北側茶色部上方	1ミリ以下のカビ10個ほど点在	
	同 下方	1ミリ以下のカビ6個点在	
	天井北側東寄りおよび西寄り	径1.5cmの範囲に1ミリ以下のカビが散	
	床面	虫死骸に白い綿状のカビ2カ所	
	同	薄い綿状のカビ3カ所	
3.14	東壁女子緑衣袴	1ミリ点状白カビ1	ムカデ4(うち生きているもの2)ワラジムシ18(うち4は生きているもの)
	同 青龍南側	径20センチの範囲に0.5ミリ大の白28箇所	
	同 青龍北側茶色汚れ部	1ミリ点状白カビ10	
	西壁 白虎後ろ足下	1ミリ点状白カビ1	
	西壁 男子群像	1ミリ点状白カビ1	
	同 女子群像下床と側壁の間	5ミリ黄色綿状1	
	天井中央部	1ミリ点状白カビ1	
	天井南入口付近	2センチ四方白薄いもの	
	盗掘孔内側西	1センチ黄色綿状1、8ミリ大黒膜状1、同大緑膜状1	
	床面	ワラジムシ死骸に綿状10箇所、ムカデ死骸に2箇所	

高松塚古墳点検・生物状況（平成13年～）

参考資料4

3.30	東壁青龍北側茶色汚れ部	1ミリ点状白カビ5箇所	ワラジムシ5(うち3は生きているもの) 壁面にダニ多数
	同 青龍南側	20×30センチほどの範囲褐色シミ状汚れ	
	天井北側	1ミリ点状白カビ6箇所	
4.11	東壁女子群像	1ミリ大白カビ1	ワラジムシ8(うち4は生きているもの)、ハサミムシ1(内)、ムカデ死骸1、クモ生体1(取り合い)
	同 青龍北側茶色汚れ部	1ミリ点状白カビ1	